

日本基督教団(東京教区・北支区) 創立 1970 年 11 月 1 日		No. 2603	
百人町教会週報		2020 年 9 月 13 日	
主日ネット礼拝順序			
		証詞 賈 晶淳 奏楽 録音	
前奏 Prelude			
讃美 Hymn	3 番(扉を開きて)		
主の祈り C Lord' s Prayer C	93-5 C		
献げ Offering			
報告 Report			
聖書 Scripture	士師記 6 章 1-14 節(旧 389p)		
証詞 Testimony	「困難な時の指導者」		
祈祷 Prayer			
讃美 Hymn	497 番(この世のつとめ)		
黙想 Meditation			
応答 Response	roba1970@purple.plala.or.jp		
次週	司 会	証 詞	奏 楽 受付・献金 会員日誌
	賈 晶淳		金井光代
今年の聖句		『わたしはすべての人々にわたしの息子や娘は預言し、老人は夢を見、若者は幻を見る。』ヨエル三の一	
今年の聖句		『主は彼の方を向いて言われた。「あなたはその力を安んずる手から救い出すことができる。わたしがあなたを遣わすのではないか。』』士師記六の一四	
今日の集会		ネット礼拝 3月29日～お知らせまで教会にての礼拝中止 お茶の間 (Zoom) 本日 午後1時半-2時半 自主参加(ID「607 777 8018」、PS「roba1970」)	
今週の集会		聖書研究会 (Zoom) 9月16日(水)午後7時半 聖書 民数記 33 章 担当 池田啓基氏	
来週の集会		主日ネット礼拝 9月20日(日)午前10時半配信 世話人会 9月21日(月)午後2時 50周年小冊子委員会 (Zoom) 9月22日(火)午後2時	
案内と消息		前中榮子氏第25回リサイタル 11月21日午後2時 於 王子ホール(銀座) 入場料 4000円(チケットは前中氏)	
特別献金		泉谷五十鈴氏(誕生日感謝) 夏期献金 371,000円(26口、予算45万円)	
先週の集会報告		女	男 計 席上献金
主日礼拝		9/6	13,000
聖書研究会		9/16(Zoom)	

集会場所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-34-13 東京家政専門学校 2 階 <http://www.hyakunincho-church.com> 携 090(6176)5403
 連絡先 〒162-0066 新宿区市谷台町 14-1-701 賈 晶淳(カジヨンス) Tel/Fax 03(6273)2930 E-mail roba1970@purple.plala.or.jp

◇牧師日誌◇

No. 662

8日(火)の夜、百合子さんからお電話あり、翌日9日(水)の午後に坂さん宅に伺った。久しぶりにお会いでき、話しているうちに予定した時間より長くなってしまった。会いたい方が大勢おられると伝えると、お会いするのは嬉しいがお帰りになった後はとても疲れるので遠慮したいと。2、3か月前に別件で入院した所沢の病院の医者からガンの疑いが説明され、その後清瀬の病院での入院精密検査により肝臓がんであることが確認された。その後、在宅治療となり今は2週間に1度訪問医が家まで来てくれる。敬夫さんと二人で祈りあい、再会を申した後お家を出た。教会の皆さんによろしくと。

11日(金)は阿蘇道子さんの納骨のため牛久の教会墓地に行った。2週間ほど前に旅人さんからご都合の希望日と母親の意思とコロナ禍もあり、親族だけでの小人数で行きたいと連絡があった。約束の11時ごろお墓に着いてみると、先に皆さんが来ておられ、その中に白戸さんご夫妻もご一緒におられた。叔母さんからの要望があったと。恵子さんは48時間用の抗がん剤を身につけておられたが昨年春入院していた頃より元気な姿だった。道子さんが病気の仲間だったのに先に行ってしまうと。睦敏さんも元気な姿で相変わらずの微笑で迎えてくださった。納骨礼拝の終わりにめまいで倒れることがあったが、二人の健康を祈りたい。お墓は一枚目の墓碑が不思議にも三つの教会がほぼ同じく前後いっぱいとなり、昨年新しい墓碑の設置(向かって右側)し、3.11の時にできた数か所のひび割れのメンテナンスも終わっていた。

◇会員日誌◇

山崎麻里子

私が多摩市永山駅前にある、小さなデイサービスセンターに職を得てからもう4、5年になるが、コロナ禍の中でご利用様が減ってしまい今年末で閉鎖する次第に相成った。ご利用者様には既に施設の閉鎖を告知してあるので、人はどんどん減って行き寂しい限りだ。今年3月には介護福祉士の資格も取得して時給も上がったのに随分な仕打ちだ。定員僅か10名の高齢者用小規模デイサービスの経営は元々苦しく、コロナ禍がそれに追い打ちを掛けた。「三密」の典型であるデイサービスでの高齢者介護の在り様も変わるべき時なのだろうか。施設では感染症対策はどんなに徹底していても、いつ、感染クラスターが発生してもおかしくない状況である。そうした時代に適応出来なかったデイサービスと言う事業形態が時代遅れなのだろう。余談だが、ご利用者様を沢山送り出すと、職員さんもどうですか、と気遣ってくれる事業所もあって有り難い。

デイサービスは実質的に12月末を待たずに閉鎖になる。10月からのご利用様も極端に少なくなり、私の自由時間も増えるので色々な事をしたいと思っている。今更だが忙しさにかまけて取れなかった資格も取りたいし、数学や物理もやりたい。特に数学はいろんな趣味の中で一番楽しいと感じている(何より趣味としては極めて安価だ!)。来月10月下旬に数学検定準1級の試験がありこれが余裕で取得出来るなら、一年以内には、合格率数パーセントの数検1級も射程に入ると言われている。趣味で数学が出来るのはこれ以上ない喜びだ。

東京は第2波感染拡大の震源地となった。この先、第3波、第4波に怯えて暮らよりは、自然と戯れながら田舎で暮らしたいとも思う。世界的にも人口過密都市の魅力は徐々に薄れて行く事だろう。コロナ禍がある程度収束すれば他所の土地も見てみたいと思っている。どこにいてもデジタル技術を使って、仕事が出来、教育が受けられ、医療が受けられ、そして礼拝や聖書研究会に参加できるのなら、この南米アマゾンの熱帯雨林気候並に暑くて湿潤な東京の夏には耐えられないと、淡路島生まれのマリンの為に真剣に考えている。